



明神っ子だより

古座川町立明神小学校 学校だより
古座川町一雨 41 TEL78-0347
令和7年 5月 1日 号 No.2

今年も潮岬に遠足へ

古座川沿いの山々には若葉が芽生え、鳥のせせらぎが心地よく聞こえてきます。新1年生は、徐々に学校に慣れ、元気に笑顔を見せて学習する姿をうれしく感じます。

さて、先週末の遠足では、潮岬灯台を見学した後、上級生が1年生の手をつなぎ望楼の芝まで歩きました。5・6年生が企画した歓迎会では、1年生へのインタビューやプレゼントを行い、いろいろなゲームをして、みんなで楽しく過ごしました。

ドッジボールでは、1年生も全力でボールを追いかけ、うまくボールをよけながら楽しんでいました。みんなで輪になって楽しみにしていたお弁当を食べた後は自由遊び。鬼ごっこをしたり、サッカーをしたり、小さな丘のところから転がったりと、みんなで一緒に遊ぶ姿を見てとてもうれしく思いました。遊びを通しての仲間づくりの大切さを改めて実感しました。



5月 行事予定

中旬	田植え (午後)
8日(木)	かがやき塾
15日(木)	心電図検診(1年生)
16日(金)	内科・運動器検診
21日(水)	運動会予行
22日(木)	かがやき塾
24日(土)	小中合同運動会 (9時~)

授業参観・育友会総会

◎4月22日、各学級の授業では、保護者の方にも参加いただきありがとうございました。

◎その後の育友会総会では、育友会長に津本陽子さん、同副会長に太田浩二さんが承認されました。保護者の皆様には、今後とも行事等への参加・協力をお願い致します。

☆先日、テニスコート横の桜の老木を、学校運営協議会の方々が伐採してくださいました。ありがとうございました。



トンガ王国からの訪問

4月21日、トンガ王国から明神にゆかりのある、エイコナカオさんとムサシナカオさんが来訪されました。約100年前に、大柳出身の中尾重平さんがトンガへ渡って事業を興し、国王のめいと結婚されたことが縁となり、トンガと古座川町のつながりが生まれたそうです。約50年前にも重平さんの息子さん、中尾勉さんが来訪され、明神小学校運動場で大きなセレモニーが行われたようです。



今回は、2022年にトンガが海底火山噴火で被災した際に、明神小中学生から励ましのメッセージを送ったことへのお礼を伝えたいとのことで来訪に至りました。エイコさんは重平さんのお孫さん、ムサシさんはひ孫さんにあたります。大阪万博のトンガ館を訪れた後、お墓参りを兼ねて古座川に来られました。

21日は、子どもたちが大柳の田んぼで育てた稲わらリースや折り紙をプレゼントしたり、「ビリーブ」を歌ったりして歓迎しました。また、児童代表で太田朋希さんが挨拶をしてくれました。ナカオさんからは、「日本に来られてうれしい。明神は私たちのふるさと、私たちは日本を誇りに思っています。被災したときは、皆さんのメッセージに大きく励ましてもらいました。」と、とても喜んでくださいました。

50年ぶりのトンガ王国の方々との交流。とても貴重な機会になりました。



稚鮎の放流

4月16日、昨年度に引き続き古座川漁協さんのご厚意で、放流体験をさせていただきました。



子どもたち一人ひとりのバケツに鮎の稚魚を入れてもらい、ゆっくりと丁寧に放流しました。約160kg、約2万匹の鮎が元気に泳いでいきました。

今年も、これを皮切りに、稲作体験や地域との交流などの『ふるさと学習』を行っていきます。地域の皆様や学校運営協議会などのご協力を頂き、体験活動の充実を図っていきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。